

# 正 誤 表

2000年10月1日現在

弊社書籍「目でみる視力・屈折検査の進めかた」の2000年3月31日 第1版 第1刷 発行（奥付をご参照ください）の内容に一部誤りがございました。お手数ですが、下記の内容にご訂正くださいますようお願い申し上げます。尚、第2刷発行以降は訂正しております。

「目でみる視力・屈折検査の進めかた」正誤表

| 頁   | 行数など                | 【誤】   | 【正】   |
|-----|---------------------|---|---|
| 1   | アクセス 11上 7          | 水泡性角膜症  | 水疱性角膜症  |
| 25  | 図3-1のシエマ            | a. 遠視 b. 近視   | a. 近視 b. 遠視   |
| 40  | 本文上2~3              | (1)遠方視力と近方視力：5 mに視力表を置いたときの視力を遠方視力，30 cmに視標を置いたときの視力を近方視力という。 | (1)遠見視力と近見視力：5 mに視力表を置いたときの視力を遠見視力，30 cmに視標を置いたときの視力を近見視力という。 |
| 63  | もの知りコラム下3           | 遠視では低矯正になる(124頁参照)。   | 遠視では低矯正になる(123頁参照)。   |
| 66  | 例の中                 | *レンズ度-0.75D・・・である。<br>0.9(1.2×-0.50D)と記載する。                   | *レンズ度-0.75D・・・である。<br>0.7(1.2×-0.50D)と記載する。                   |
| 70  | 図5-8<br>4 (マル4) の中  | 斜乱視 凹円柱レンズの軸45°   | 斜乱視 凹円柱レンズの軸135°  |
| 81  | 図5-12<br>8 (マル8) の中 | 3 (マル3) -0.25Dの円柱レンズ<br>(cyl-0.25 A 180°)                     | 3 (マル3) -0.25Dの円柱レンズ<br>(cyl-0.25D180°)                       |
| 111 | もの知りコラム下7           | 連続的に変わる連続焦点レンズが必要になる。   | 連続的に屈折力が変わる累進屈折力レンズが必要になる。                                    |
| 127 | 図付-1図説下2            | 左眼瞳孔の左側辺縁   | 左眼瞳孔の右側辺縁   |
| 131 | 図付-3aの表中            | Donders(1964)   | Donders(1864)   |
| 133 | もの知りコラム下1           | この公式を使用した方がよい。  | この公式を使用しない方がよい。   |